

日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
 区政レポート
 2011.8.19.No.1004

ご相談はお気軽に
 TEL とも **3905-0970**
 FAX
 さがらとしこ事務所
 赤羽北3-23-17
 (バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)
 日本共産党議員団
 区役所内 3908-7144
<http://www.kitanet.ne.jp/~kyoukita/>



おばあちゃんのキュウイ。
 大きくなつたかなあ。

2011.8.10



※7月14日にスケッチ、8月10日に色づけしました。
 8月13日には、お盆で福島のおばあちゃん宅へ。

北区の「調査書が届いたけれど...」
「ひとり書くのは、大変だなあ」...

◎ さそく、「いっしょに書き込み会」をしてみました。
 次回は、8月20日(土) 2時~と
8月21日(日) 4時~です。
 場所は、さがらとしこ事務所です。
 お友だちをさそって、ぜひ、いっしょに、どうぞ。

提出期限は延長と
 8月11日の区長の申し入れの中

- ◎ 北区がおこなう、65歳以上の方の「高齢者調査」は、大変だじな基礎資料として、医療や介護などの高齢者福祉や、やさしい、安全なまちづくりに生かしてゆくことになります。
- ◎ ところが書類が送られてきたのは、お盆の忙しい時期で、×切り日は8月23日(×)となっています。これでは、×切りに間に合わない方も、多数になつてはうら心配もあります。
- ◎ そこで、区長には×切り日の延長などを申し入れました。裏面に、申し入れの全文とをせていますので、ごらん下さい。

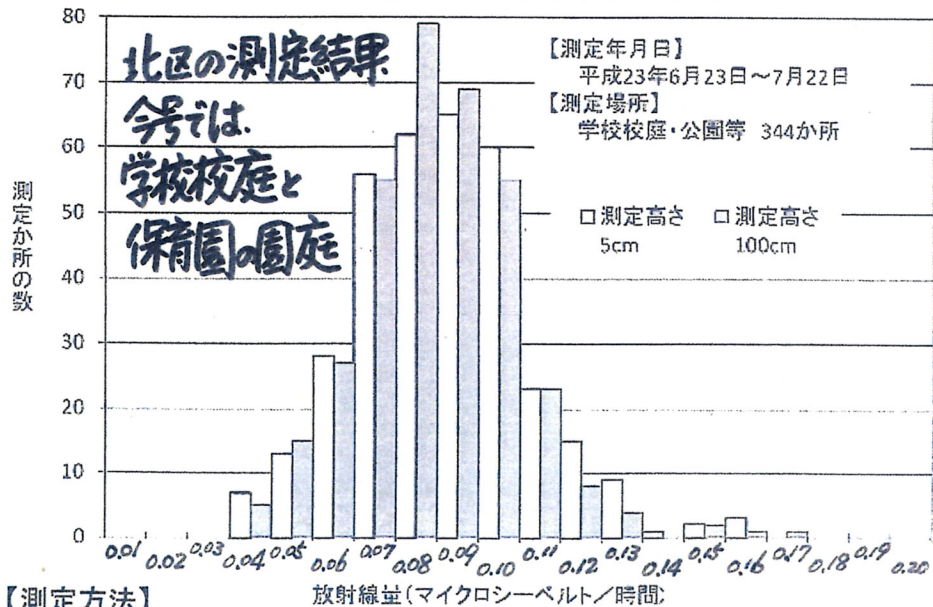
熱中症に気をつけて、お過ごし下さい。
 猛烈なあつさがつづいています。
 水分とすいみんが大切ですが、夜型生活にならない様に気をつけて...



石巻・浜に活気を取りもどしたい...
 カキやホタテ、ホヤの養殖がさかんだった。雄勝湾の水浜で

大震災から早くも5ヵ月たちました。
 漁業者が、会社を結成へ

空間放射線量の測定結果(校庭・園庭等)



【測定方法】

- 測定の高さ： 地表面(地上5センチメートル)と地上1メートルで測定
- 使用機器： シンチレーション式サーベイメータ DoseRAE2 PRM-1200

放射線から子どもを守る対策と区民のくらしに関する申し入れ

2011年8月11日

北区長 花川與惣太殿

日本共産党北区議員団

300ヵ所以上に及ぶ放射線量の測定や公園の水循環の再開、図書館の開館時間の改善など、私たちの要請にこたえた区のすみやかな対策に敬意を表します。

さて、ホットスポットの出現や食品汚染の拡がりなど、福島第一原発事故による放射能汚染の影響は、いっそう深刻さを増しています。日本共産党北区議員団は8月に入り、北区の測定によって0.15 μ Sv/h（以下単位同じ）を超えた公園や、区民から要望のあった場所などで、放射線量の再測定調査をおこないました（使用機器はアロカ製シンチレーションサーベイメーターTCS-171）。その結果、豊島東公園土手付近の草むらで0.25、赤羽公園の藤棚付近で0.27、東田端公園の砂場で0.28、八幡通り児童遊園の砂場で0.29、王子五丁目団地内の公園で0.32（いずれも5cm地点）など、北区でも局所的なホットスポットが存在していることが確認されました（別途資料参照）。

つきましては、放射線から子どもを守るために、あらためて区のきめ細かな対策を求めるものです。あわせて区民のくらしに関し、引き続き暑さ対策など、さらなる対応を求め、以下に要請いたします。

記

1、放射能から子どもを守る対策について

- ①これまで北区が測定した地点の空間放射線量について、放射線マップを作成し公表すること。
- ②正確な測定をおこなうために、区として高性能の放射線測定器を購入すること。
- ③すみやかに再測定をおこなうとともに、ホットスポットとよばれる局所的な高線量地点を発見・確定し、砂場の砂の入れ替え、側溝の泥廃棄、除染などの対策を講じること。子どもが遊ぶ場所（砂場など）については、除染などの措置がとられるまで使用を禁止すること。
- ④食材の放射線量を測定する機器を区として購入するか、国から借用し、食品の検査体制を確立すること。
- ⑤庁内に放射能汚染対策をおこなう担当部署を設置し、体制を拡充すること。

2、区民のくらしに関する要請について

- ①8月から始まった生活保護受給者のエアコン設置事業については、制度の周知徹底をはかり、手続きの迅速化などの支援をおこなうこと。
- ②改正介護保険法のもとで、自治体の判断によって、これまでのサービス水準を切り下げることのないよう、第5期介護保険事業計画の策定にあたること。
- ③木造住宅耐震改修助成事業は、助成限度額を拡大し、高齢の所有者へ上乗せ補助を実施すること。
- ④8月23日までとした全高齢者実態把握調査の回答期日については、季節的要因なども考慮し延長すること。また、記入についての具体的支援策を講じ、あわせて匿名の回答も調査に反映させること。
- ④JR 東日本に対し、赤羽駅リニューアル計画についての住民説明会を再度開催するよう要請するとともに、利用者の安全のためにJRがおこなった流動シミュレーションの公表を求めること。

以上

日本共産党東日本大震災被災地救援

ボランティアニュース 臨時号

発行：日本共産党北地区
災害対策本部

114-0032 北区中十条2-11-6

TEL3906-2821, fax3906-3225

さがら事務所へ
(3905)0970
ご連絡下さい。

★8月23～24日の第四次ボランティア

北區では、**そねはじめ前都議が災害対策本部長**として、**ひきつき救援活動**にあたっています。

被災地では、**米どろどろありながら、米が足りないという状況です。ぜひ、お米を届けたのをご協力ください。**

- 8月23日(火)
 - 7時半：地区委員会に集合、荷物積み込み
 - 8時：同出発。東北道～三陸自動車道経由。
 - 14時：石巻救援センター着。レクチャー受け被災地を見学。その後宿泊センターへ
- 8月24日(水)
 - 7時半：宿泊センターから石巻センターへ。朝食。
 - 9時～12時：無料配布バザール中心にボラ活動。
 - 13時半：昼食後出発。
 - 18時半：北区到着・解散。